

# 令和5年度 第5回市政モニターアンケート調査結果

## 1 アンケート内容

### (1) アンケートテーマ

平和に関するアンケート(所管課:企画政策室)

### (2) アンケート目的

戦後78年が経過し、戦争の記憶が薄れていく中、市民の平和意識の醸成のために、現時点での平和への意識調査と、効果的な施策について検討するため

### (3) アンケート項目

13項目

- ・平和について
- ・非核平和都市宣言について
- ・平和資料館について
- ・太平洋戦全国戦災都市空爆死没者慰霊塔について

### (4) アンケート対象

令和5年度市政モニター(225名)

令和5年度高校生モニター(57名)

### (5) アンケート方法

姫路市公式アプリ「ひめじプラス」のアンケート機能を活用

### (6) アンケート期間

令和5年8月23日(水)から令和5年9月5日(火)まで

## 2 回答状況

### (1) 有効回答数

218

### (2) 回答率

77.3%

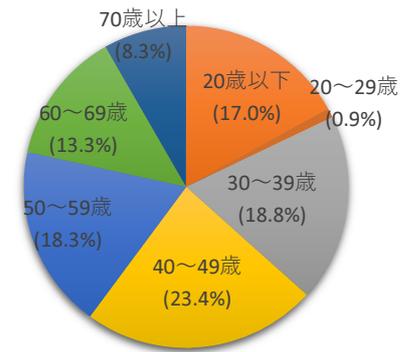
### (3) 回答集計

次ページ以降のとおり

## アンケート回答者の属性

### 年齢

20歳以下	37	(17.0%)
20～29歳	2	(0.9%)
30～39歳	41	(18.8%)
40～49歳	51	(23.4%)
50～59歳	40	(18.3%)
60～69歳	29	(13.3%)
70歳以上	18	(8.3%)



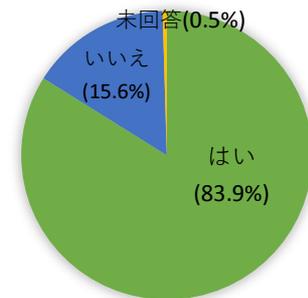
### 性別

男性	63	(28.9%)
女性	154	(70.6%)
その他	1	(0.5%)

## 質問1

平和について普段考えることはありますか。

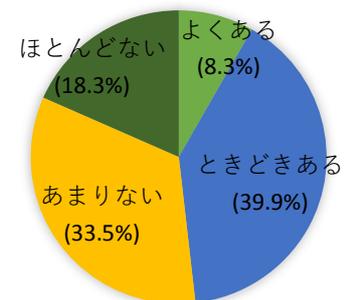
1 はい	183	(83.9%)
2 いいえ	34	(15.6%)
3 未回答	1	(0.5%)



## 質問2

平和について家庭で話し合うことがありますか

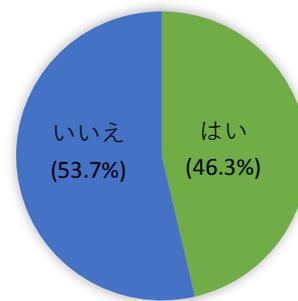
1 よくある	18	(8.3%)
2 ときどきある	87	(39.9%)
3 あまりない	73	(33.5%)
4 ほとんどない	40	(18.3%)



### 質問3

姫路市は非核平和都市宣言をしていることを知っていますか。

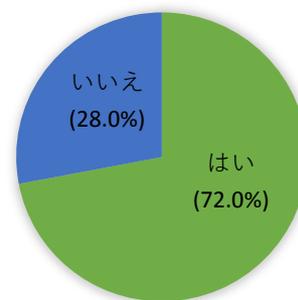
1 はい	101	(46.3%)
2 いいえ	117	(53.7%)



### 質問4

姫路市に平和資料館があることを知っていますか。

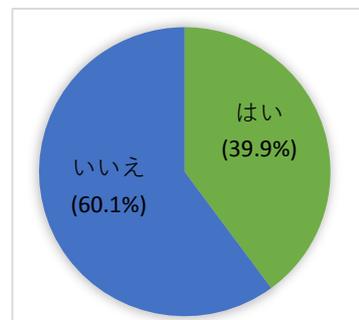
1 はい	157	(72.0%)
2 いいえ	61	(28.0%)



### 質問5

姫路市平和資料館に行ったことがありますか。

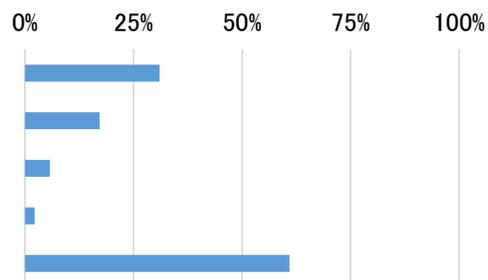
1 はい	87	(39.9%)
2 いいえ	131	(60.1%)



### 質問6

問5で「1はい」と回答した方に伺います。平和資料館へは、いつ頃行きましたか(複数選択可)。

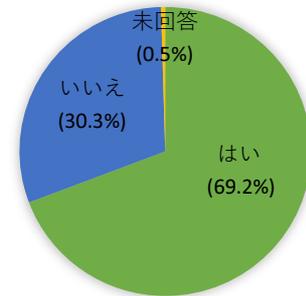
1 小学校のとき	27	(31.0%)
2 中学校のとき	15	(17.2%)
3 高校生のとき	5	(5.7%)
4 大学生・専門学校生のとき	2	(2.3%)
5 学校を卒業してから	53	(60.9%)



### 質問7

手柄山に全国の民間人空爆犠牲者を追悼する「太平洋戦全国戦災都市空爆死没者慰霊塔」があることを知っていますか。

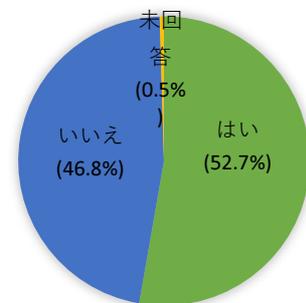
1 はい	151	(69.2%)
2 いいえ	66	(30.3%)
3 未回答	1	(0.5%)



### 質問8

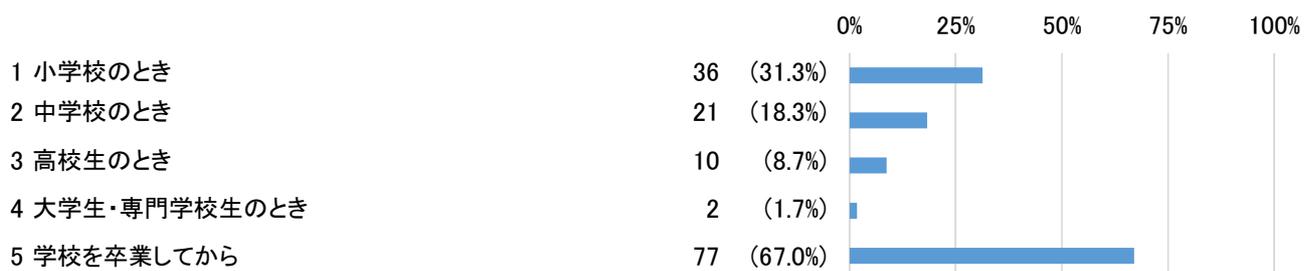
太平洋戦全国戦災都市空爆死没者慰霊塔に行ったことがありますか。

1 はい	115	(52.7%)
2 いいえ	102	(46.8%)
3 未回答	1	(0.5%)



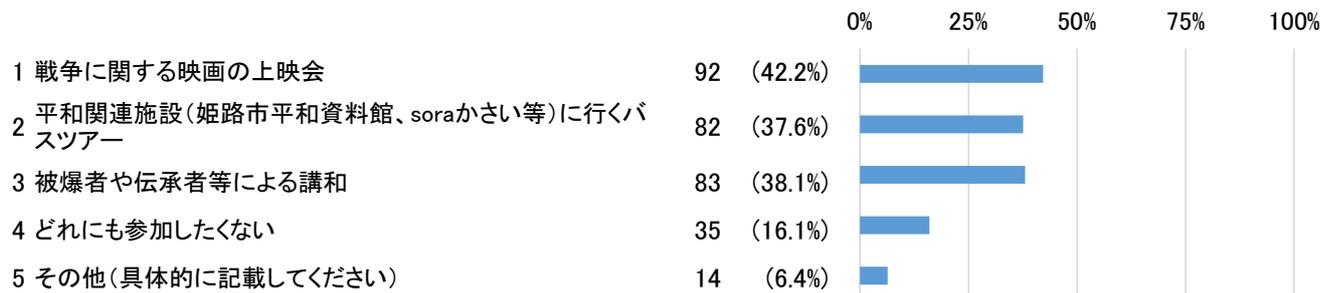
### 質問9

問8で「1はい」と回答した方に伺います。太平洋戦全国戦災都市空爆死没者慰霊塔へは、いつ頃いきましたか(複数回答可)。



## 質問10

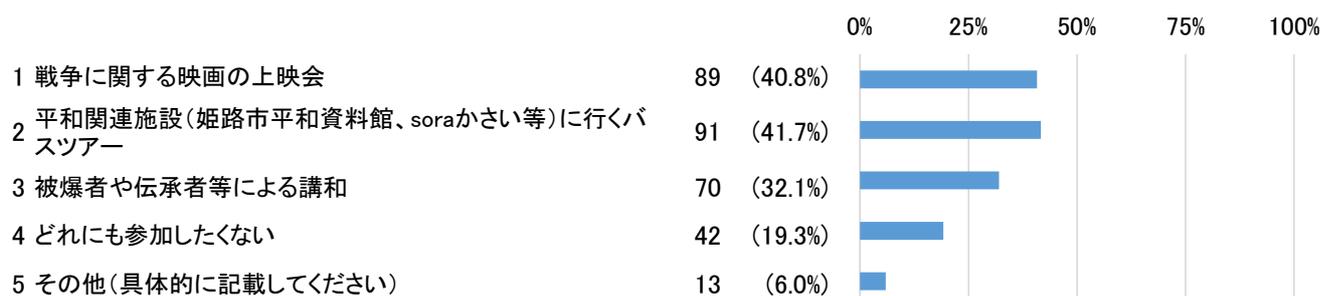
平和に関する次のような催しがあれば、あなたはどれに参加してみたいですか(複数回答可)。



- ・ 図書館で、戦争の本を特集した催し
- ・ 被爆や戦争の話は重い話になるので楽しいイベントとだけあわせて施設に訪問や講和があると行きやすい
- ・ 姫路城やアクリエで8月になったら平和に関するプロジェクションマッピングやライトアップなど広く意識付けできるイベントが有ると良い
- ・ 戦争をなくすためにはどうしたら良いのか?を考える展示会など
- ・ 他にも知られていない戦争の遺跡、たとえば福崎工業団地の弾薬庫跡、加古川飛行場、加古川弾薬庫、自衛隊基地内の遺構、香寺の地下軍事工場跡など整備、公開、説明
- ・ 幼児や小学生に向けたもの
- ・ 過去の伝承だけでなく、現在おこっている戦争について考えたい
- ・ 平和関連施設へ出向き、施設を見た感想や平和について各々の考え方などレポートを書き提出すれば図書券がもらえるなどの機会があれば、意識が深まると思う
- ・ 戦争を題材にした読み聞かせ。図書館とかでなく、ピオレの上等で開催していただけたら
- ・ オンライン交流

## 質問11

平和に関する次のような催しがあれば、家族や友人と一緒に参加してみたいものがありますか(複数回答可)。



- ・ 観光目的で
- ・ 姫路城やアクリエで8月になったら平和に関するプロジェクションマッピングやライトアップなど広く意識付けできるイベントが有ると良い
- ・ 戦争を題材にした読み聞かせ。図書館とかでなく、ピオレの上等で開催していただけたら
- ・ 幼児や小学生に向けたもの
- ・ 戦争をなくすにはどうしたら良いかを考える展示会など
- ・ じっくり考えたいから一人で行く
- ・ 今後、平和を維持するために我々がすべきことを学びたい

## 質問15

その他、平和教育や平和への取組についてご意見等がございましたら、ご自由にご記載ください。

- ・ 子供にわかりやすい絵本などあれば親子で読んでみたい
- ・ 青野ヶ原や広畑にあった捕虜収容所跡に記念碑をつくり平和資料館にそれに関する展示をしたらどうでしょう？
- ・ ある学童では夏休みに平和資料館に遠足に行ったり、終戦日近くに給食ですいとんを子供たちで作ったりしている。大人になって機会を作るのではなく、子供の時から学ぶ行事に支援してほしい
- ・ 私達が戦争と平和に対する問題意識を持っていれば次の代にもそれが継がれると思うので、幼い子であっても、年齢に合わせて、戦争と平和を考える教育が必要だと思う
- ・ 自分より人の事を思えば争はなくなると思うので、小学生の内から思想教育をして欲しい

こういったアンケートがあって改めて気付かされました。学校教育の中では見学する機会もあるでしょうが、社会人になってからは意識することがほとんどありません。しかし、社会人の方が戦争体験者の話を聞いた経験がある方が多いと思うので、社会人向けの催しをご検討されたら良いのではと思いました

- ・ 市民会館で小学生に見せたい平和教育映画をやってほしい
- ・ 8月15日の正午にだけでも町内放送等で黙祷の案内とサイレンを流すようにしてみる…等は如何でしょうか。お盆の時期で皆さん集まる方も多と思います。家族で考える、伝えていきかけ作りも大切かと思えます
- ・ ウクライナのニュースを見るたびに平和な世界を皆で作っていかねばならないと思います。一人ひとりが平和について考え、知り、行動することが大切だと思います。被爆者の方のお話は是非聞いてみたい
- ・ 次世代、子供達を巻き込んだ、見学会の、催し。過去の戦争の悲惨さや世界レベルでの、憎しみあい、考え方の違いを考えるのに、役立つゼミの開催

最近も新聞などで戦争や平和についての記事を読み、知りえなかった事実や過去の戦争について考えさせられます。知ることは、とても大切であると思います。その一方で、「平和教育」として押し付けられることには少し抵抗があります。(今の若い人達はどうか?)実際に平和資料館や慰霊塔を訪ねて、感じることや考えさせられることはたくさんありました。強く心に残るものもあります。だから知るためには、そのような施設を訪ねることは大切だとも思います。私が平和ボケしているのからだとは思いますが、平和教育の難しさはあるような気がします

兵庫県と沖縄との関連から平和教育を行ってはどうか？最後の沖縄県知事は兵庫県出身の島田勲氏、島守として今も称えられている。野球選手としてならした彼の名前を冠した島田杯という野球大会も沖縄では毎年開催されている。誰も行かなかった沖縄に死を覚悟して赴き、住民に「生きる」と訴えた島田勲知事のことを知ることが平和教育につながると確信する。同じ兵庫出身という事実で親近感を持ち、もっと知りたいと思うのではないだろうか

- ・ 平和に関する映画、平和に関する活動・イベント等も参加したい。姫路駅周辺やアクリエ等でも開催して欲しい。手柄山の上がるのは少しハードルが高い気がします
- ・ 自衛の為の軍事力保持についての議論も必要と思います

小学生から高校生まで、必ず、毎年、1時間以上授業時間を事前に確保し、年齢に応じた教育を行っていただきたい。最終的に高校2年生頃に各人が1分程度スピーチし、自分自身の考えを他者に話してもらいたい。自身の考えを他者に聞いてもらい、他方、他者の考えを聞く事に依り、恐らく記憶に残る授業になると思います。この記憶が、成人後も平和に関心を持ち続ける元になると思います

人口が70億人に迫り食糧問題がうたわれている中、日本の自給率は40%にも満たなくて、世界の食料を輸入と言う手段でかき集めているんですよね。どれほど恨みを買っていることだろうと思います。上手く言葉に表せませんが、国内の食糧問題を解決できずに平和教育や平和への取組って、「絵に描いた餅」のような気がしてなりません。それはそれ、これはこれ、なのかもしれないですけど、戦争という切り口ばかりから平和を考えても本質に永遠にはたどりつけないような気がします。平和への貢献は、紛争地域に自衛隊を派遣する事で正しいのでしょうか？

世界でいま実際に起こっているウクライナの避難者が姫路に居住しているようであれば、母国の惨状、平和に対する思いを直接語っていただく機会があればと思います

私自身姫路出身でないこともあり、姫路大空襲の様子など知らないことが多いので、夏には様々な角度からその事実を知らせる取り組みをしてほしい。姫路城が戦時中空襲の危機から逃れたこともあり、平和の象徴としての存在にもなりうるので、非核平和都市宣言とも相まって、姫路市および姫路城を平和のシンボルとして、国の内外に向けてアピールしてもらいたい

最近の小学校の平和教育がどのようなものかわかりませんが、出来るだけ早い段階で平和について考えたり、資料館や慰霊塔へ行ったりして、今の日本が平和である事に感謝して毎日を精一杯生きるよう教えるべきだと思います。

- ・ 本来は親が教えるべきですが、親世代が若いためそれが叶わないのが現実です。是非、教育現場で先生も一緒に学ぶべきかと。今の日本はあれだけ悲惨な体験をした国なのに、完全に平和ボケしてますよね。どんどん生きにくくなる世の中で、平和である事に甘んじず、日々平和である事を感謝することが大事だと思います
- ・ 先日、平和資料館へ写真展を見学に行きました。誰もいない館内…資料館があることを市民にあまり周知出来ていないのでは？もっとアピールしなければ伝承には程遠いと思います

世界の平和を願うものの、平和に関する催しには参加したくないのが現状です。資料館や被爆者の話など戦争に関するものはどれも衝撃的で、わざわざそれを見に行ったり聞きに行ったりしようという気になりません。しかし平和を願う上で、事実を知る事の大切さも分かります。そこで、商店街や、駅までの通路等に平和資料の掲示などをし、気付けば目に入っていて、ちょっとした気づきを得られるような形での平和学習等がいいと思います

世界情勢を見ていて人間とは何と愚かなのかと悲しくなる。気候温暖化で環境が悪くなる一途を辿る中、人々が地球のため、子どもたちの未来を守るためにしなければならないことが平和だと思う。姫路のインバウンド狙いの観光に期待している政治にも問題あり！！広報を見ていて歴代の市長もそうでしたが華やかな場所に出かけることばかりが目にとまり姫路を 姫路のことを 県を 国を世界をに繋げていく そんな政治をしてください

今現在の戦争は、対岸の火事です。よって日本が戦争していたのも、被爆者等、嫌な思いをされたの方には申し訳ないですが過去の話です。平和ぼけと言われれば、その通りですが悪い事では無いと思います。世界中が平和ぼけになれば良いのですが、お金儲け道具になっているので、戦争は無くならないと思います

- ・ 地域や学校単位で紛争地域での支援活動を積極的に進める

ロシアとウクライナの戦争が起きた事で平和についてより身近に考えるようになりました。今まで戦争は過去のものであり、この教訓があるから戦争は起こらないものと思っていましたが、突然始まり、まだ収束しない現実もショックです。戦争がない日本が平和なのかというと、他人より自分が良ければいいと言う考えが風潮している現代社会をみるとより複雑に思います。いろいろな視点から平和について学び考える事はとても大切だと思いました

過去の振り返りばかりではなく、今直面している問題について考えたい。例えば、北朝鮮からミサイルが飛んできたらどこに避難するか。地下の避難施設の建設または、現存する建物の地下の市民への開放。など

日本は80年間戦争をしていないが、世界から戦争がなくなったことはない。テレビやネットで見るニュースは映画を見るように実感のない別の世界の出来事にしか思えない。自衛隊のショーを見てカッコいいと思う。自衛隊は戦争をする部隊であるのにその実感はない。平和を享受し当たり前の世界にいる日本で平和の必要性を伝えることは難しい。私が子供の頃、65?60年前には、終戦記念日などのテレビニュースや特集で被爆犠牲者の映像などは生々しいものであったが、今は放送規制のせいなのかそのような映像の放送はなく、献花の様子を伝えるのみである。お金を乞う傷痕軍人も身近に見ることもあった。戦争から時間を経て、今は日本の国として本気で平和の意味、重要性を伝えようとしているとは思えない。台風の被害を、実際に被災して初めて実感するように、日本が実際に戦争に晒されないと真の平和を実感することはないように思う

- ・ 子供には実話のアニメなどから入りそれが現実にあったことであるなどの習い方が理解に繋がるのかなと思います

子供時代が一番素直に戦争はよくないということが吸収できると思うので、校外学習で施設に行ったり、戦争体験者の話を聞く機会を作っていただければいいと思います。その時に、保護者も一緒に参加できれば、家庭でも子供と平和について話し合いやすいと思います

今の子どもたちが、どこまで戦争について理解できているかわからないが、戦争を経験した世代がほとんどいない中で、いかに戦争のことを知るか、継承するかが課題だと思います。正直学校からの校外学習で平和資料館に行きましたが、プライベートで行こうとは個人的には思わないので、行ってみたいと思えるようなことがあるといいかもしれない。例えば夏休みの自由研究の課題になれるようなワークショップ的なのをするとか

平和教育は大切なことですが、幼い子どもに残酷なものを見せることに抵抗があります。私自身が子供の頃に戦争の映画を見て大変ショックを受け、その後も夢でうなされたりとメンタルに大きな影響があったので……そしてその影響は良いものだと思えなかった。平和教育をするなら、順序をおってやらないと、ただただ怖いものという印象を与えてしまうだけだと思います。なかなかむづかしいですが

長崎出身であり、戦争による犠牲となる人、家族、友人、自然、経済など、現在の生活そのものが消失し、個人の人権も失われてしまうことを、しっかりと教育していくシステムをつくらせない、体験ベースの発想では何も残せません。その上で、これから日本を背負う若い人びとに、人を思いやる心の育成を行う必要があると考えます

被爆者の方や、伝承者の方に学校に訪問してもらい、話を聞かせてもらって、それについての話し合いをグループでして発表するとか、もっと身近に戦争というものを感じられるような授業をするべきだと思います

- ・ 小学校で受けた教育は非常に印象的で心に残るものです。昔は道徳の時間に倫理や平和について教えていただいていたと思います。世界で起っている戦争の現実や平和について教える機会があればよいと思います。現在、戦争で苦しんでいる世界の人々の事を考える機会があってもよいと思います